

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○全教職員で活力と魅力のある学校作りをめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい授業を展開し、基礎学力の定着を目指す授業を行い、子どもが主体的に取り組む指導に展開します。 ・一人ひとりの生徒が成就感・自立（律）感を味わえる学校行事となるよう工夫します。 ・挨拶を大切に、ものごとの善悪を正しく判断する心を育てます。 ・地域社会との連携を活発化し、地域とのつながりを深め、地域の一員として貢献できる力を育てます。 ・人と人とのつながりを通して、バランスのとれたコミュニケーション能力を育てます。 	

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
授業改善		<p>①生徒が主体的に参加することができる、わかりやすい授業を行う。</p> <p>②対話的活動を取り入れ、バランスの取れたコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <p>③学習状況調査等を利用し、具体的に身につけたい力、伸ばしたい力を明確にして学力を伸ばす授業づくりに活かす。生徒による授業評価と結びつける。</p>
担当	学習指導部	

今年度の目標：基礎学力の定着・向上を目指すために授業改善を行っていきます。

2 令和8年度 教科等として目標を実現するための具体的行動プラン

<p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字ノートやワークを活用し、新出漢字・語句を中心に基礎的な言語事項の定着を図る。 ○単元ごとに学習目標を明示し、授業中の発問を工夫することで生徒の十分な理解を促す。 ○思考・判断の力を伸ばしていくために、話し合いやグループワーク等では、目的や意図、場面等を意識させていく。 	<p>社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各分野において、見通しをもって学習が進められるように、単元における授業の目標を明示する。また、主体的・対話的かつ深い学びにつながるように、資料の活用を工夫する。 ○自分の考えを深めることができるように、単元の修了ごとに適宜ふり返りを行い、学習の過程を理解させる。
<p>数学</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の定着を図るために、TT指導(一年) 少数指導(三年)により数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようにする。 ○実生活や実社会の事象を数理的に考察し、論理的に説明するなど、数学的活動を重視し、身近な生活と関連付けた学習を意識した授業の展開を心掛ける。 	<p>理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な知識、技能の定着を図り、実験・観察を積極的に用いて科学的な探究をできるようにしていく。 ○科学的に探究するための思考力・判断力・表現力を高めるために、レポートの課題や形式を工夫し、またICTも活用して指導に取り組む。
<p>音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態にあわせて「学習の主題」による授業構成を行い、音楽活動の充実に必要な基礎的・基本的能力の伸長を図る。 ○生徒同士が音楽表現について意見交換する場を意図的に設定し、よりよい表現を目指すことのできる学習展開を工夫する。 	<p>美術</p> <ul style="list-style-type: none"> ○横浜版学習指導要領に示す「学習の主題」を基に、育成する力を明確にした題材設定をする。 ○題材全体の活動の中で、見通し・振り返りを大切にした授業づくりを行い、生徒による授業評価等で検証し、授業改善を進める。
<p>技術・家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校や他教科での既習事項や生活体験、興味・関心を把握し、生徒の資質・能力を踏まえ題材設定を行う。 ○習得した知識と技術を積極的に活用し、意欲をもって追究し、解決のための方策を探るなどの学習を繰り返し行う。 	<p>外国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション力を高めるために、自律的学習者を育てながら、身近な話題についての情報交換や表現ができる能力を養う。 ○外部検定試験実施に伴い、自らの目標設定を明確にさせるとともに、4技能のバランスのとれた授業展開を図る。